

令和4年度中学生チャレンジテスト

第3学年 国語

注意

- 1 テスト問題は、1ページから28ページまであります。先生の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2 解答はすべて解答用紙⑥（国語）に記入してください。
- 3 解答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はっきりと書いてください。また、消すときは消しゴムできれいに消してください。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 5 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。また、解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 6 解答用紙は、オモテ、ウラがあります。
- 7 解答用紙の「生徒記入欄」に、組、出席番号を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 8 テスト実施時間は、45分です。

問題は、次のページから始まります。

☐ 次の1～4の問いに答えなさい。

- 1 次の行書で書かれた漢字ア～エを楷書かいしよで書いたとき、総画数そうがすうが同じになるものはどれとどれですか。適切なものを二つ選びなさい。

ア
港

イ
続

ウ
植

エ
閣

2 次の①～③の文中の——線部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいてねいに書きなさい。

① 体を鍛える。

② 薬剤師の仕事について学ぶ。

③ 白川郷しろかわごうの合掌造り集落。

3 次の①～③の文中の——線部のカタカナを文の内容に合うように漢字に直し、楷書でいてねいに書きなさい。

① 田畑をタガヤす。

② 品物を紙にツツむ。

③ ゲンミツに調査をする。

4 次は、中学生の木村さんと先生との【会話の一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【会話の一部】

木村さん 先生、おはようございます。

先生 木村さん、おはようございます。うれしそうですね。何かよいことがありましたか。

木村さん はい。昨日、わたしの姉が東京からいらっしやいました。

問い —— 線部は、「わたしの姉が東京から来ました」というのが適切な言い方です。 —— 線部が適切でない

理由として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 家族のことを他人に話すときに家族に対して尊敬語を使っているから。
- イ 年上の人の動作や物事に対して謙讓語けんじょうごを使っているから。
- ウ 自分のことを紹介するしょうかいときに自分に対して丁寧語ていねいごを使っているから。
- エ 一つの行動に対して尊敬語と謙讓語を同時に使っているから。

問題は、次のページに続きます。

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

(池内了いけうちりょう『なぜ科学を学ぶのか』による)

1 本文中の ─── 線部 A ～ D の語のうち、他と活用形が異なるものを一つ選びなさい。

2 本文中に ─── 線部 ①とありますが、筆者が、「科学的判断」や「科学的予測」という言葉のニュアンスが大きく異なると述べるのはなぜですか。その理由が書かれて
いる一文として最も適している一文を探し、初めの**五字**を抜き出しなさい。

3

本文中に——線部②とありますが、筆者は、科学を学ぶことでどのようなことができるかと述べていますか。その内容についてまとめた次の【メモ】中の **あ**、**い** に当てはまる適切な言葉を、それぞれ本文中から抜き出さない。ただし、**あ** は十五字、**い** は十二字で書くこと。

【メモ】

- さまざまな問題に応用でき、物事の仕組みや歴史的繋がりがりや思いがけない社会的関係を見発見することができる。
- 世の中のさまざまな事柄ことごとに対して幅広い見方はばひろをすることができる。
- 実際に自分が経験したことがないことを **あ** ことよつて難問に対してヒントを得ることができる。
- **い** ことよつてこれまで考えたことがなかったような新鮮しんせんなイメージを思い浮かべることができる。

4 次の【表】は、本文中で述べられている「知は力なり」という言葉の意味について、フランシス・ベーコンの考えと筆者の考えを整理したものです。 [I] 、 [II] に当てはまる適切な言葉を、それぞれ本文中から抜き出してください。

【表】

	フランシス・ベーコンの考え	「知」の意味
筆者の考え	さまざまな科学的な経験	自然を支配する力
		「力」の意味

5 本文中に——線部③とありますが、筆者は、本当の生きる力を備えている人間とはどのような人間であると述べていますか。知的な世界、インテリジェンスの二つの言葉を使って三十字以上、七十字以内で書きなさい。

6 次のア～エのうち、本文の内容に合うものとして最も適しているものを一つ選びなさい。

ア 科学は自然と人間が関係して繰り広げられる現象を全分野から論じるといふ意味があり、科学的に考えることは人間の生き方への重要なヒントになり、直面する問題をすべて解決することができる。

イ 自分が意外な発見をすると、自分自身が感動するだけではなく、人に話したいという気や一緒に感動したいという気になり、何事にも自信を持って人と対応できるようになる。

ウ やさしく他人と接し合える人たちは、それぞれが異なった発見をしても、その発見を互いに尊重しているの
で、科学的な経験を積み重ねなくても自然を支配することができる。

エ 科学を学び、科学の考え方を応用すると、「知ることが生きる力に変えられる」ということに繋が
り、フランシス・ベーコンのように新しい言葉を生み出すことができるようになる。

【三】 浅田さんの学級では、国語の授業で浮世絵の鑑賞文を書くことになりました。次は、浅田さんが【鑑賞している浮世絵】、作品からわかることや調べてわかったことを書いた【メモの一部】と、これを用いて書いた【鑑賞文の下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【鑑賞している浮世絵】



東京国立博物館蔵
(国立文化財機構所蔵品統合検索システム
(<http://colbase.nich.go.jp/>) より)

「富嶽三十六景 隅田川関屋の里」 葛飾北斎作

【メモの一部】

作品からわかること

- 1 三人の人物が馬に乗って駆け抜ける様子が描かれている。三頭の馬のうち、二頭は右から左へ走る様子が大きく、一頭は奥へと向かって走る様子が小さく描かれている。
- 2 田園が広がり、その中を土手が曲がりくねっているのびている。
- 3 奥には富士山が小さく描かれている。
- 4 馬上の人たちの顔は笠にかくれている。

調べてわかったこと

- 5 右端に描かれているのは高札場である。高札場は、江戸時代に法令などを記して人の集まる場所に設置された。
- 6 作者は葛飾北斎という江戸時代後期の浮世絵師で、すぐれた描写と大胆な構図を特色とした作品を多く残している。

Ⅰ のどかな田園風景、へびのように曲がりくねった土手、その土手を三人の人物が馬に乗ってさっそうと駆け抜け、その走る馬の姿が見事に描写されています。この浮世絵の題は「富嶽三十六景 隅田川関屋の里」。江戸時代を代表する浮世絵師、葛飾北斎の作品です。この作品の魅力について、私は描写と構図の二点にしばって述べることになります。

Ⅱ まず、人や馬の描写について考えてみましょう。馬上の三人は頭を低くして前かがみになり、着物の裾が風になびいています。そして、馬のしっぽも風になびいています。これらのことから、風を切って疾走している人馬の動きがいきいきと伝わってきます。また、馬上の人たちの顔は笠にかくれています。顔が描かれていないことで、どのような表情なのかということ、この作品を鑑賞する人が自由に想像できるのではないのでしょうか。

Ⅲ 次に、構図について述べます。前面に大きく描かれた人馬が配置され、先頭を行く人馬は小さく描かれて配置されています。さらに、先頭を行く人馬の進む先には小さく描かれた富士山が配置されています。このことから私には、富士山が小さく描かれながらも存在感を示しているように思われます。これらの構図から私は作品の奥に向かって空間の広がりを感じました。

Ⅳ これらの描写や構図から私は二つのことに気づきました。一つは、人馬の動きの瞬間をとらえて描くという北斎の観察力の鋭さです。そしてもう一つは、人馬の様子と富士山の様子を対照的に描くという北斎の鋭さです。

Ⅴ 北斎は、すぐれた描写と大胆な構図を特色とした作品を多く残しています。この特色は、今回私が鑑賞したこの作品においても強く表れているように感じました。この作品には他にもたくさん魅力があると思います。しかし、すぐれた描写と大胆な構図という二つの特色こそがこの作品について語るときに欠かせない魅力だと思っております。

1 【メモの一部】には、浅田さんが書いた【鑑賞文の下書き】かんしょうぶんに使われていない項目こうもくがあります。【メモの一部】中の1～6のうち、その項目として適しているものを一つ選びなさい。

2 【鑑賞文の下書き】中の——線部①に用いられている表現の技法を書きなさい。

3 次のア～エのうち、【鑑賞文の下書き】中のⅠ段落の役割について述べたものとして最も適しているものを選びなさい。

- ア 多くの具体例を挙げて、浮世絵の作者の考えを読み手に示している。
- イ 自分の主張を最初に述べ、解決策を読み手に提案している。
- ウ 何について書こうとしているのかを、読み手に提示している。
- エ 複数の人の考え方を紹介して、読み手の興味を引き出している。

4 【鑑賞文の下書き】中の~~~~線部について、浅田さんが「こそ」という表現を使った意図として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア この作品に描かれている人物の中でも一人の人物を特に強調しようとした。
- イ この作品の魅力の中でも一部の魅力を特に強調しようとした。
- ウ この作品に描かれている風景の中の一つの事物を特に強調しようとした。
- エ この作品には他にも多くの魅力があることを特に強調しようとした。

5 次のア～エのうち、【鑑賞文の下書き】かんしょうぶんについて述べたものとして適していないものを一つ選びなさい。

- ア 人物の描写から自分が受けた印象をもとに読み手に共感を求めるように書いている。
- イ 作品から自分が感じたことや考えたことについて順序を示す言葉を用いて書いている。
- ウ 作品の構図から自分が考えたことを読み手にわかりやすく伝えるように書いている。
- エ 浮世絵うきよゑの制作方法や作品が描かれた時代背景についてていねいに解説しながら書いている。

6 浅田さんは、【鑑賞文の下書き】を読んだ友だちの石川さんから、——線部②について、次の【アドバイス】をもらい、書きかえることにしました。あなたならどのように書きかえますか。あとの条件に従って書きなさい。

【アドバイス】

何のどのような様子と何のどのような様子を対照的に描いているのか具体的に書いた方がよいと思うよ。

条件1 対照的、動と静の二つの言葉を使って書くこと。

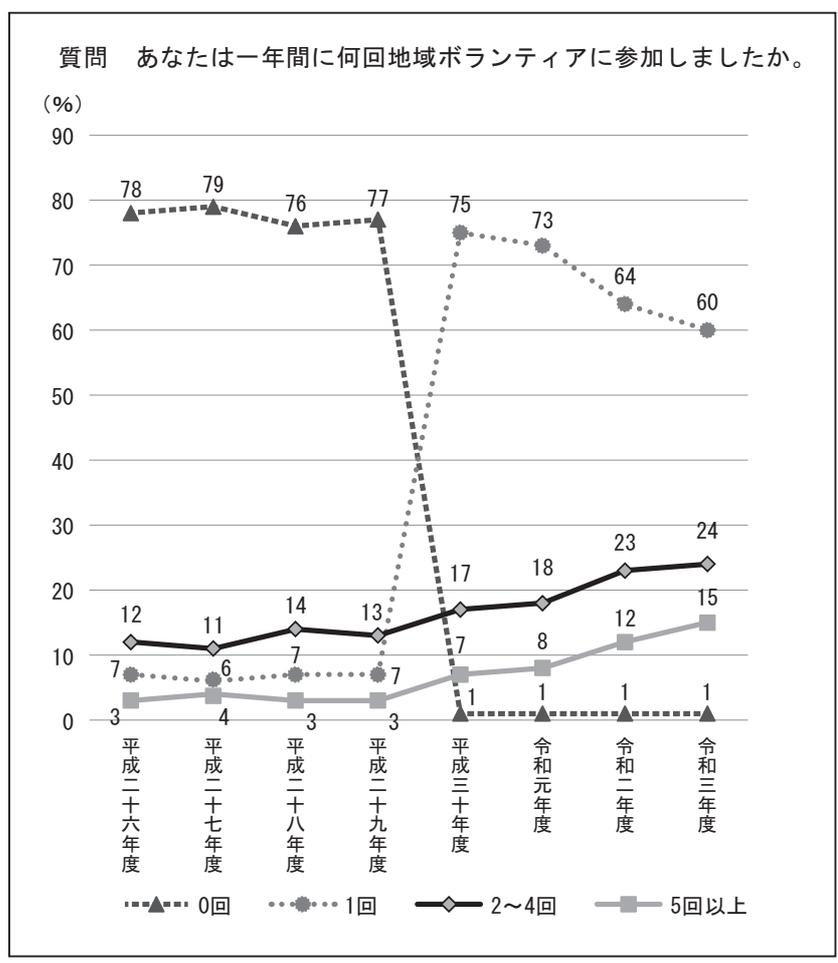
条件2 【鑑賞文の下書き】の内容をもとにして、四十字以上、六十字以内で書くこと。

問題は、次のページに続きます。

四

青川中学校の生徒会では、地域ボランティアへの参加を促す取り組みを行っており、平成三十年から毎年、町で行われている「夏の地域清掃」にも学校全体で参加するようになりました。【資料①】～【資料③】と、生徒会役員たちの【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料①】 青川中学校の生徒会が毎年とっているアンケートの結果をもとに作成した資料



【話し合いの一部】

森本さん 今日、青川中学校の生徒のみなさんに地域ボランティアへの参加を促すために、私たちができることは何かを話し合います。話し合いを進めるための材料として、原田さんに昨年度までの地域ボランティアへの参加に関する資料をまとめてもらったので、報告してもらいましょう。それでは原田さん、お願いします。

原田さん はい。青川中学校では、毎年地域ボランティアについて、全校生徒にアンケートをとっています。【資料①】は、そのアンケートの結果をもとに作成した資料です。こちらの資料をみると、地域ボランティアに一回参加した生徒の割合が平成三十年度に七十五%に増え、一回以上参加した生徒の割合が九十九%になったことがわかります。これは、平成三十年分から青川中学校が町の「夏の地域清掃」に学校全体で参加するようになったことが理由だと考えられます。この「夏の地域清掃」への参加は、地域で行われている活動に加えることで青川中学校の生徒が地域ボランティアに興味をもつようになればよいと当時の生徒会役員が考えて始まった取り組みだということでした。資料の報告は以上です。

森本さん 今の原田さんの報告の中に、「夏の地域清掃」に参加することで、地域ボランティアに参加した生徒の割合が増えたという発言がありました。このことについてみなさん何か意見はありますか。

山口さん 「夏の地域清掃」に学校全体で参加することで、地域ボランティアに一回以上参加した生徒の割合が九十九%になったのです。すばらしい成果だと思います。

村上さん しかし、「夏の地域清掃」以外に自主的に地域ボランティアに参加したと考えられる、地域ボランティアに二回から四回参加した生徒の割合と五回以上参加した生徒の割合は、令和三年度においてもそれぞれ全体の四分の一、五分の一に満たず、それほど多くはないように思います。このことから、学校全体で「夏の地域清掃」に参加する取り組みは、「夏の地域清掃」以外の地域ボランティアへの自主的な参加回数を増やす意味においては、依然として……、あつ、

A

あまり効果がないように思います。

原田さん そうでしょうか。【資料①】の、地域ボランティアに二回から四回参加した生徒の割合と五回以上参加した生徒の割合をあわせると

B

。このことから「夏の地域清掃」

は生徒の「夏の地域清掃」以外の地域ボランティアの自主的な参加回数を増やす効果があったと考えます。

村上さん なるほど。そのような読み方もできますね。

山口さん 学校全体での「夏の地域清掃」への参加によって、生徒のみなさんの自主的な地域ボランティアへの参加回数に影響があったということですね。

原田さん 「夏の地域清掃」をきっかけにして、生徒のみなさんが今よりもっと自主的に地域ボランティアに参加することにつながったらしいです。生徒のみなさんが「もっと地域ボランティアをしてみたい」と思えるような方法を考えてみませんか。

森本さん そうですね。そのためには、生徒のみなさんが「夏の地域清掃」に対してどのような感想をもっているかを知った上で考えたいですね。毎年「夏の地域清掃」についての振り返りアンケートを行っていましたよね。令和三年度の結果はどうでしたか。

原田さん 令和三年度のアンケート結果は、この【資料②】になります。

森本さん ありがとうございます。それではこの【資料②】で、生徒のみなさんの「夏の地域清掃」に対する感想をみていきましょう。

山口さん 【資料②】の質問1からは、ほとんどの生徒が「夏の地域清掃」に参加したことを肯定的にとらえていることがわかります。

村上さん はい。ただし、【資料②】の質問2をみると、「夏の地域清掃」に参加してよかったと思っただ理由として、「友だちと取り組めて楽しかったから」をあげる生徒が非常に多いですね。「友だちと取り組めて楽しかったから」が主な理由だとしたら、地域ボランティアに生徒一人ひとりが自主的に参加するということにはつな

がりにくいのではないでしょうか。

山口さん

地域ボランティアに自主的に参加している人たちは、どのような理由で参加しているのでしょうか。それを調べて、青川中学校の生徒が自主的に地域ボランティアに参加するにはどのようなようにすればよいかを考えてみませんか。

森本さん

わかりました。それでは今から十五分間、地域ボランティアに参加している人たちがどのような理由で参加しているかについて、インターネットなどを使い、みんなで調べてみましょう。

(十五分後)

森本さん

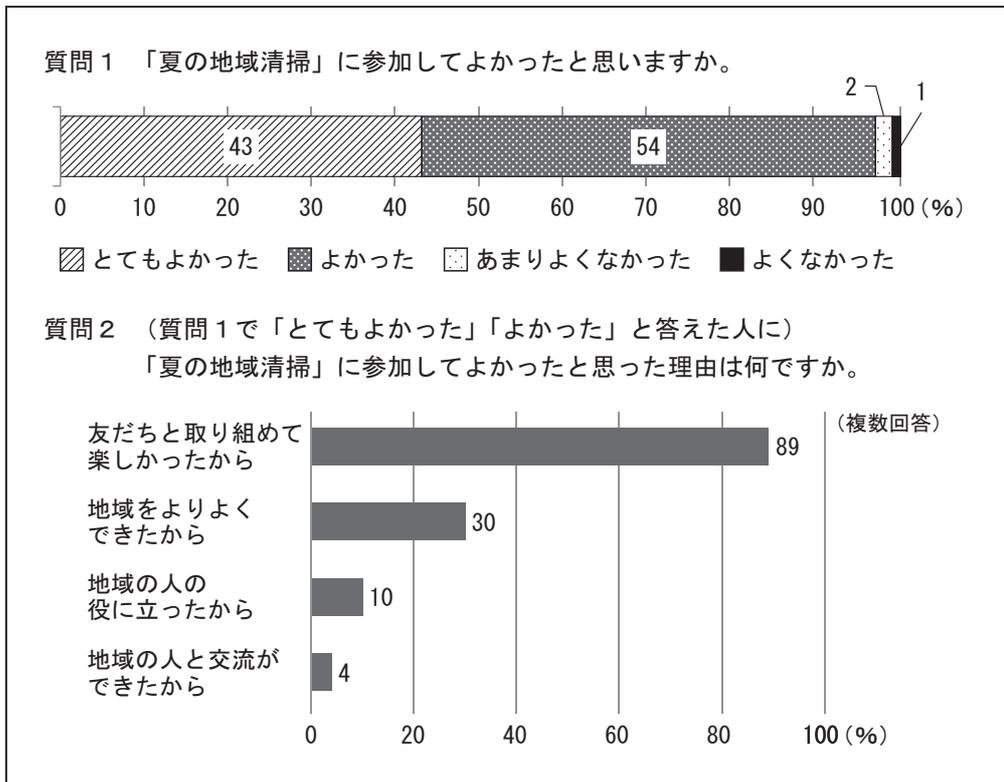
それでは十五分経過したのでお聞きします。何かよい資料はみつかりましたか。

原田さん

はい。となりの市の市役所のウェブページをみたところ、地域ボランティアに参加している十代の人たちにとった、地域ボランティアに関する調査の結果がありました。こちらの【資料③】をみてください。

【資料②】 令和三年度の「夏の地域清掃」についての

振り返りアンケートの結果



山口さん

【資料③】では、「地域の人の役に立ちたいから」「地域をよりよくしたいから」などの割合が高く、「友だちと取り組んで楽しいから」の割合を上回っています。地域ボランティアに自主的に参加する人は、地域貢献（こうけん）をすることに対して充実感（じゅうじつ）をもつ傾向（けいこう）が強いのかもれませんね。

村上さん

「友だちと取り組んで楽しかった」だけでなく、「地域の人の役に立った」「地域をよりよくできた」「地域の人と交流が深まった」などの地域貢献をすることに対する充実感を生徒のみなさんがもつことができれば、生徒に地域ボランティアへの参加をより促（うなが）すことができるのではないのでしょうか。

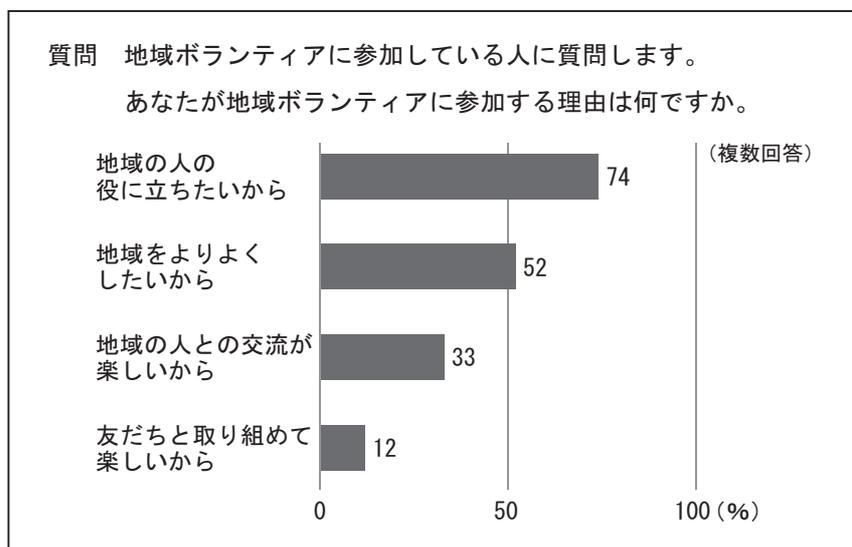
森本さん

そうですね。生徒のみなさんが地域貢献をすることの充実感をもつことができるよう、私たちにできることはないでしょうか。今から何か案②を考えてみませんか。

（以下、話し合いは続く）

【資料③】

地域ボランティアに関する
となりの市の調査の結果



1 次のア～エのうち、【話し合いの一部】中の原田さんの報告の特徴として最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア 話の意図が伝わっているかを確認するために、聞き手に何度も問いかけている。
- イ 話の内容を分かりやすくするために、専門的な用語の意味を説明している。
- ウ 話の意図を明確に伝えるために、自分の思いを報告の最後に述べている。
- エ 話の内容を客観的に示すために、資料の数値をもとに事実を述べている。

3 【話し合いの一部】中の B に入る内容を、次の条件に従って書きなさい。

条件1 【資料①】の、平成二十九年年度に地域ボランティアに二回以上参加した生徒の割合と、令和三年度に地域ボランティアに二回以上参加した生徒の割合とを比べて書くこと。

条件2 数値を用いて具体的に書くこと。

条件3 前後の文脈に合わせて二十五字以上、四十五字以内で書くこと。

4 【話し合いの一部】中の——線部②について、生徒会役員たちは、生徒のみなさんが地域貢献こうけんをすることの充じゆう実感じつかんをもつことができるようにするための案を考えて話し合うことになりました。あなたが生徒会役員なら、どのような案を述べますか。あなたの案を、次の条件に従って書きなさい。

条件1 「地域の人の役に立った」「地域をよりよくできた」「地域の人と交流が深まった」などの地域貢献をすることに対する充実感を生徒のみなさんがもつことができるような案を一つ書くこと。

条件2 条件1で書いたあなたの案によって、生徒のみなさんにどのようなことが伝わるかを具体的に書くこと。

条件3 「私は、」に続けて、八十字以上、百二十字以内で書くこと。

【五】 次の文章は、『大鏡』おおかがみ という書物の中の藤原行成ふじわらのゆきなり という人について書かれた話のうちの一つです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

『大鏡』より

1 本文中の
~~~~~  
線部を現代かなづかいに直して、すべてひらがなで書きなさい。

2

本文中の——線部①を現代語に直したとき、次の 、 に入る言葉の組み合わせとして最も適しているものを、あとのア～エから一つ選びなさい。

かつこうのものだねえ。これは 。

A

ア 不思議な | 何ということだ

イ 便利な | 何か

ウ 不思議な | 何か

エ 便利な | 何ということだ

B

3

本文中の——線部②の主語は何ですか。最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア ふじわらのゆきなり  
藤原行成

イ みかど  
帝

ウ 人々

エ お  
むらこの緒

4 本文中の——線部③がさし示す内容を、本文中からひらがな五字で抜き出しなさい。

5 次のア～エのうち、この話の内容に合うものとして最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア 行成は、少々不得意なことに対しても知恵が働き、帝のお気に召すおもちゃを用意した。
- イ 行成は、金や銀など工夫をこらして美しく飾りつけをしたおもちゃに興味を持って遊んだ。
- ウ 帝は、南殿にお出ましになり、くるくると回る行成の舞をたいそう興味深くご覧になった。
- エ 帝は、こまの使い方がおわかりにならず、ほかのおもちゃといっしょにしまいこまれた。